

## 令和元年度蕨市防災会議 会議録

【審議会等の名称】	蕨 市 防 災 会 議
【開催日時】	令和元年6月14日（金）午後2時00分から
【開催場所】	蕨市民会館 1階 101室
【議 題】	別紙「蕨市防災会議配布資料」のとおり
【公開又は非公開の別】	公 開
【非公開の場合の理由】	—
【出席者氏名】	別紙「蕨市防災会議出席者名簿」のとおり

### 【会議要旨】

#### 1. 開 会

司 会	<p>それでは、定刻となりましたので、ただ今から蕨市防災会議を開会いたします。本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>私は、本日司会進行を務めさせていただきます蕨市安全安心推進課長の小柴と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして蕨市防災会議の会長であります頼高英雄蕨市長より、ご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
-----	---

## 2. 会長挨拶

会 長

皆さん、こんにちは。蕨市長の頼高英雄でございます。

本日は、令和元年度蕨市防災会議に、大変お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。また日頃から蕨の防災行政にご尽力をいただいておりますことに、市長として心から御礼を申し上げたいと思います。

もうみなさんご存知のとおり昨年来、日本各地で大変大きな災害が相次いでまいりました。昨年度6月には大阪北部地震が発生し、また6月から7月にかけて西日本豪雨災害では大変甚大な被害も発生をしております。さらには9月になりまして北海道胆振東部地震、前後の余震等含めてこちらも大変大きな被害も発生をしております。こうした災害以外にも、豪雨災害等含めて、改めて私たちの住む日本が災害列島なのだということを実感しております。そうした中で、幸いこの蕨は大きな災害に直面することなく、今日を迎えることが出来ましたけれども、懸念されている首都直下地震への備えも含めて、あるいは昨年西日本豪雨災害以来、水害対策というものも改めて市民の皆さんの関心が高まっております。こうした中で、災害に強いまちづくりを皆さんのご協力をいただきながら、今進めてきているというところでもあります。昨年の西日本豪雨災害の後には、大きな被害があった岡山の真備町に市の職員を派遣して、避難所運営の支援などもさせていただいております。

こうした中で、後ほどこの間の蕨の防災の取り組みについては事務局より報告をさせていただきますが、重点的に取り組んできた問題についてご報告をさせていただきますと、防災対策でこの間一番力を入れてきた課題の一つが公共施設の耐震化事業というものでありました。大変遅れた状況にあったのですが、これを抜本的に強化して、学校、保育園、公民館、市民体育館、市民会館等、順次耐震化を終えることが出来まして、今年度からは蕨の消防防災行政の拠点の一つである消防署塚越分署、これは塚越地区と南町地区を担当している消防署の分署ということになります。そちらには消防団の第一分団の待機所もあるという施設でありますけれども、こちらが耐震性も満たさず、また大変老朽化しているということもありまして今年度から建て替え事業を行うことにいたしました。建て替える間は市民公園の管理棟に一時的にその分署機能を移して支障の無いように、今事業を始めているというところでもあります。

会 長

そしてもう一つの、まさに市民サービス、防災対応の拠点である蕨の市役所についても市民の皆さんのご意見を伺いながら、今の場所で建て替えるのがいいだろうということで方針を決めさせていただいて、今年度からはいよいよ基本設計、実施設計に入っていきます。2023年度中の完成ということでそれに向けて、今取り組みを進めさせていただいているという状況であります。また災害が起きると必ず課題となるのがライフラインの問題、この総合防災演習等にもライフラインの事業者の皆さんにもご協力いただいております。市の方でいいますと、水道事業を担当しているわけでありましてけれども、水道でいいますと特に、口径の大きな基幹管路といわれる水道管の耐震化事業にこの間力を入れてまいりました。幸い蕨はコンパクトシティなものですから非常に投資効率のいいという側面もありまして、基幹管路の耐震化率が30年度末で95%を超えるというところまで前進をしましてまいりました。おそらく全国平均はまだ40%台ではないのかと思いますので、この面では大変大きな前進をさせる事が出来たと思っております。そうはいっても、やはり災害時には水が出なくなることが一時的にもありうるということで、実は昨年度に避難所となる学校に水をためるタンク、常時置くのではなく、組み立て式の1トンの水が入る応急給水タンクというものをそれぞれ配備させていただくということも行ってきたところです。その他地域の防災力向上に向けて、28年度から始めてきたスタンドパイプ、これを消火栓につないで初期消火に使っていただこうと、あるいはそこに蛇口を付けることで非常時の飲料水の確保にもつなげようといったものも、昨年度をもってすべての自主防災会への配備を無事終えることが出来たというところでございます。一方水害対策のほうでいいますと昨年4月に改訂版の洪水ハザードマップというものを配布させていただいたのですが、そこには万が一荒川が決壊した場合のいわゆる浸水の深さを水色の濃さの違いで表しているんですけども、どうしても平面的な地図ですと実感がわかないということもあるものですから、今年度は市内の電柱100本に、この地域であれば荒川決壊時には3mの浸水被害想定がありますよと、実際3mのところには何か赤い印をつけるといったものも予定をさせていただいております。そのほか、町会、自主防災会の皆さんと連携しての避難所運営訓練をこれは確か27年度から順次行ってきまして、5校で確か終わったのではないかと、また、今年度は西小での開催を予定させていただいております。こうした取り組みを含めてこれからもしっかりと災害に強いまちづくりを進めてい

<p>会 長</p>	<p>きたいと思っております。</p> <p>今日は審議事項といたしまして令和元年度の総合防災演習について、今年度は中央地区が重点地区ということで、中央小学校を会場に開催をさせていただく予定となっております。今回は新しい種目としてはさきほど申し上げた、組み立て式の応急給水タンクは1トンが入るので結構大きなものですが、ただそれは市民の皆様でも組み立てられるということになっておりますので、それを実際に組み立てていただく、そんな訓練を予定させていただいているほか、この間も市内さまざまな企業、団体と防災協定締結をさせていただいております、いろいろな関係団体の皆さんの防災に関わる展示コーナーの中には、新たに協定を結んだセブンイレブングループの皆さんの展示なども加えさせていただくということも予定をしております。この総合防災演習は、それぞれ避難所運営訓練とは別に、蕨全体で行政、ライフライン機関、関係機関、自主防災会、警察、消防等その連携をしっかりと確認しながら地域が総力をあげて市民の命しっかりと守っていくと、災害に備えていくという点では、大変重要な機会となりますので、本日ご参加いただいている皆様のご協力をいただきながら、しっかりと実証していきたいと思っております。後ほど説明等させていただきますので、不明な点等ございましたらぜひ忌憚のないご意見いただきながら、ご協力もいただければ思っております。</p> <p>最後にこれからも皆さんと連携して災害に強い蕨のまちづくり進めていきたいと思っておりますので、引き続きのお力添え重ねてお願いを申し上げ、市長としてのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。</p>
------------	--

### 3. 議 事

<p>司 会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入る前に、本会議の傍聴についてご報告いたします。</p> <p>会議開催を事前公表したところ、傍聴希望はございませんでしたので、ご報告いたします。</p> <p>それでは、本日の資料について確認をさせていただきます。</p> <p>ホチキス留になっておりますが、まず、「蕨市防災会議」と書かれた次第、次に、「蕨市防災会議委員名簿」、続きまして「資料1」が2枚、「資料2」が2枚、「資料</p>
------------	---

<p>司 会</p>	<p>3」が1枚、そして別刷りカラーでの印刷になりますが、わらび防災大学の募集チラシが1枚となっております。</p> <p>お手元、過不足等はありませんでしょうか。</p> <p>それでは、3の議事へ入らせていただきます。議事の進行につきましては、蕨市防災会議条例施行規則第2条に基づきまして、頼高会長に議長をお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、さっそく、議事に入らせていただきます。お手元の次第でございます。議事（1）審議事項「令和元年度蕨市総合防災演習実施概要（案）について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>安全安心推進課防災危機管理係の中村と申します。着座にてご説明をさせていただきます。</p> <p>それでは、審議事項「令和元年度蕨市総合防災演習実施概要（案）」についてご説明いたします。資料1をご覧ください。</p> <p>この訓練は、東京湾北部地震の発生を想定し、本年の重点地区である中央地区を中心に、市民、自主防災組織、関係機関が合同で訓練を行い、災害対策の強化と防災意識の高揚を図るものでございます。</p> <p>実施日時は令和元年8月18日（日曜日）の午前8時00分からで、会場は、蕨市立中央小学校でございます。</p> <p>重点地区の参加者ですが、13自主防災組織から400名程度を見込んでおります。</p> <p>演習協力要請団体につきましては記載のとおりでございます。</p> <p>それでは、資料1の2枚目をご覧ください。訓練種目と展示・体験コーナーにつきまして、要点をご説明いたします。</p> <p>はじめに（3）の災害対策本部設置訓練は、本部長の入場後、本部テント内で災害対策本部員会議を開催する訓練で、ここから、校庭での訓練種目がスタートいたします。</p>

事務局

次に（７）の住民避難訓練は、市職員や消防団の誘導により、自主防災組織ごとに中央小学校校庭へ避難する訓練です。その他、蕨市聴覚障害者協会の方々、蕨手話サークルの方々、市内中学校の生徒で構成されるワラビサポーティングスチューデントやボーイスカウト団員にも、例年通りご参加いただく予定となっております。

また、（９）災害時要配慮者救出避難訓練は、災害時に自ら避難することが難しく、家族等の支援も十分に得られない避難行動要支援者のうち、中央地区にお住まいの方々につきまして、実際の支援者が支援する形で避難していただく訓練で、先ほどご説明した住民避難訓練と同時に実施いたします。今後、各自主防災組織にご協力いただきながら、ご参加いただける方を募集したいと考えております。

次に（１２）の高所救出搬送訓練では、はしご車を使用し、校舎屋上から要救助者を救助することを主とした訓練で、詳細につきましては、今後、消防本部と協議してまいります。

次に（１６）の市民参加訓練では、資料にございます７つの訓練を、重点地区の自主防災組織の皆様などに受けていただきます。このうち、まずはスタンドパイプ操作訓練についてご説明いたしますが、スタンドパイプセットは、大規模な地震が発生し、消防隊が火災現場に急行できない場合、地域住民が協力して初期消火等に当たるための消火器材一式であり、スタンドパイプ、ホース、管鎗などがセットになっております。付近の消火栓に差し込み、付属のホースをつないで初期消火活動等を実施いたします。先ほど会長のご挨拶にもありましたが、本市では２８年度から、自主防災組織にスタンドパイプセットを配備しており、昨年度の配備を以て、全３７団体への配備が完了いたしました。総合防災演習では、実際に自主防災組織に配備するものと同じスタンドパイプセットを使用していただくことで、より実践的な訓練としてまいりたいと考えております。演習当日は、中央小学校周辺の消火栓もしくは簡易水槽からグラウンド内に事前に水を引き込み、消火栓にみたてた器具にスタンドパイプをつなぎ、放水するまでの訓練を実施する予定です。

また、「応急給水タンク設営訓練」につきましては、例年実施してまいりました「耐

事務局

震性貯水槽操作訓練」に変えて、今年度より新たに実施する訓練です。本市は、災害時の給水体制を確保するため、指定避難所に組み立て式の応急給水タンクを整備したところであり、断水の際には給水車でタンクへ注水し、避難者にはそのタンクから給水を受けていただくこととしております。タンクの設営訓練につきましては、後ほどご説明する「避難所運営訓練」等において既に始めているところではありますが、総合防災演習の市民参加訓練内でも行うこととし、その後の（21）給水訓練で、給水車のほか、このタンクからも給水を受けていただくことを検討しており、今後、水道部局と調整してまいりたいと考えております。

次に（18）のライフライン応急復旧訓練につきましては、昨年度同様、東京ガス株式会社様、管工事指定店組合様、電気工事工業組合様、東京電力パワーグリッド株式会社様、東日本電信電話株式会社様にご参加いただきたいと考えており、訓練内容につきましては、今後調整させていただきたいと考えております。

次に（19）の物資輸送訓練は、一般社団法人戸田炭トラック協会様のご協力により、市の備蓄品等を搬送する訓練です。搬送する物資は、（6）の炊き出し訓練で作ったアルファ米と、クラッカー、ペットボトル保存水などです。輸送班がグラウンド中央に物資の入った段ボールを降ろし、その後、（20）の食料配給訓練で、町会の皆様がりヤカーを利用して搬送、参加者に物資を配付していただきます。

最後に全消防団による（22）一斉放水訓練を実施し、訓練種目終了となります。

続きまして、展示・体験コーナーについてご説明いたします。

展示・体験コーナーでは、地震体験車の体験コーナーを設けております。この体験車は、過去発生した地震や、今後想定される地震の揺れを再現することができるほか、震度1から7まで、設定した震度の揺れを起こすこともできます。当日、演習にご出席いただける委員の皆様で、まだ体験されていない方がいらっしゃいましたら、ぜひご体験ください。

また、消防本部のコーナーでは、消火器体験や住宅用火災警報器展示のほか、AEDの操作も随時体験できるようにいたします。

事務局	<p>本市では昨年度より、市内のコンビニエンスストアやガソリンスタンドのご協力により、市が各店舗にAEDを設置し、市民の皆様にも夜間も含めて自由に使用していただく「街なかAEDステーション事業」を実施しており、市民の皆様などがAEDを使用する機会が増えていく可能性もありますので、演習時におきましても、より多くの参加者に、AEDの操作を体験していただきたいと考えております。</p> <p>また、本市は昨年10月に、株式会社セブンーイレブン・ジャパン様及びイトーヨーカ堂様と、防災を含めた8つの連携事項からなる「地域活性化に資する包括的連携協力に関する協定」を締結いたしました。このことを契機に、新たに株式会社セブンーイレブン・ジャパン様の展示ブースを設けることを検討しております。展示内容につきましては、今後調整してまいりたいと考えております。</p> <p>その他、関係機関の皆様のご協力により、資料でございます通り合計11個のブースを設けたいと考えており、様々な角度から、防災啓発に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>最後に、演習本番までの今後の予定についてであります。市職員向けの説明会として、「本部員会議」を7月19日の金曜日、午前10時30分よりこの会場にて実施いたします。</p> <p>また、関係機関の皆様に対しまして、8月6日（火曜日）の午後2時より、この会場において「関係機関説明会」を開催いたします。ご参加いただく訓練の詳細につきましては、説明会後の打ち合わせで最終決定させていただきたいと思っております。事前調整が必要な場合もあるものと思われまますので、何かございましたら、安全安心推進課防災危機管理係にご連絡くださいますようお願いいたします。</p> <p>審議事項「令和元年度蕨市総合防災演習（案）について」の概要の説明は以上でございます。</p>
会 長	<p>それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問やご意見等がありましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。特にございませんか。</p>



会 長	<p>それでは、特にならぬようにありますので、「令和元年度蕨年度蕨市総合防災演習実施概要（案）」につきましては、今の説明のとおり実施するということでご異議ございませんでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、そのように進めさせていただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>それでは続きまして、次第の（２）報告事項につきまして、「平成３０年度の防災事業の取り組みについて」、「令和元年度の防災事業の取り組みについて」、併せて事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、報告事項「平成３０年度の防災事業の取り組みについて」ご説明いたします。資料２をご覧ください。</p> <p>はじめに１．自主防災組織の育成・強化につきましては、５つの事業についてご報告いたします。</p> <p>（１）スタンドパイプセットの配備につきましては、平成２８年度から、希望する自主防災組織に対し配備を進めてまいりましたが、平成３０年度に１３団体へ配備した結果、全３７自主防災組織への配備が完了いたしました。さらに、スタンドパイプを給水にも活用するため、スタンドパイプに接続して使用する蛇口のついた給水栓も全自主防災組織に配備いたしました。なお、配備に伴い、７月２６日（木曜日）に蕨市消防本部にて授与式と操作研修会を実施、８月１９日の総合防災演習でも放水訓練を実施したほか、各自主防災組織でも独自に放水・給水訓練を実施していただいております。</p> <p>次に、（２）応急給水タンクの整備につきましては、総合防災演習実施概要案のご説明で申し上げたとおり、指定避難所に組み立て式の応急給水タンクを整備したものであり、災害時で人的・物的資源が不足する中でも、給水体制を維持するために導入いたしました。なお、スタンドパイプ給水栓及び応急給水タンクの配備は、蕨市水道部が実施しております。</p> <p>次に、（３）の「わらび防災大学校」につきましては、協働提案事業として平成２８年度から実施されており、平成３０年度につきましても、蕨防災士会所属の防災</p>

事務局	<p>士の皆様を講師とし、9講座を開催いたしました。各講座、平日昼、平日夜、休日の3回ずつ、同内容で開催したため、講座のコマ数としては27コマとなります。</p> <p>会場は蕨自治会館など、対象は蕨市民及び蕨市通勤・通学者として募集したところ、受講者数は資料の通りで、各回40名前後、合計は延べ数で354名となっております。</p> <p>次に、(4) 自主防災組織育成交付金の交付につきましては、防災器材等の購入に要する経費に対して、1団体5万円を上限に交付するものであり、30年度は全37団体に対し、計182万2,248円を交付しております。なお、平成30年度における自主防災組織の主な購入品は、保存水、テント、アルファ米などとなっております。</p> <p>次に(5)の避難所運営訓練につきましては、避難所となる学校の体育館等で実施する実動訓練で、本年2月17日(日曜日)に蕨市立北小学校において実施いたしました。主な参加者は、各小学校に避難する予定の自主防災組織の方々、教員、PTA、各小学校に参集する市職員、計180名であり、平成28年2月に策定した「蕨市避難所運営マニュアル」を基にして訓練を実施しております。資料の2枚目に、訓練の全項目を記載しておりますが、避難所運営委員会の立ち上げから、備蓄場所の確認と備蓄品の搬出、自主防災組織と教員・職員の連携確認、炊き出し、仮設トイレの設置、応急救護など多岐にわたっており、このうち平成30年度から開始した「⑬地域の危険箇所の確認」につきましては、避難の途中に建築物の倒壊などによる危険箇所がないかを確認し情報共有する訓練、そして「⑭要支援者安否確認・避難誘導訓練」につきましては、自主防災組織が把握している避難行動要支援者宅を回って安否確認し、必要に応じて避難誘導を行う訓練です。また、⑰特設公衆電話設置訓練につきましては、本日もお越しいただいている東日本電信電話株式会社様のご協力により、事前に設置している特設公衆電話の配線を、昇降口など電話の設置場所まで伸ばし、電話機と接続する訓練です。</p> <p>次に、2. 災害時応援協定の締結につきましては、昨年度は2つの協定を締結い</p>
-----	---

事務局

たしました。一つ目は、株式会社イトーヨーカ堂様と締結いたしました「風水害時における施設等の提供に関する協定」で、内容は、風水害の発生により市公用車に被害が及ぶおそれがある場合に、一時退避場所として錦町店の立体駐車場の一部をご提供いただくものです。二つ目は、蕨市内郵便局と締結した「災害発生時における蕨市と蕨市内郵便局の協力に関する協定」で、内容は、蕨市内において災害が発生した場合、車両や避難場所等の提供、郵便局ネットワークを活用した広報活動、郵便・為替貯金・簡易保険に係る災害非常事務取扱及び援護対策、臨時郵便差出箱設置などについて、相互に協力を要請できることを定めたものです。

次に、3. 職員緊急連絡・安否確認システムの導入につきましては、災害の発生により通信が増加するなどして、連絡が取りづらい状況におきましても、職員の安否を速やかに確認し、市の応急体制を整えるために導入いたしました。システムの概要についてであります。災害発生時に、職員へ安否確認メールを一斉送信し、職員からの返信メールで安否状況等を確認するものであり、一斉メールは、地震発生時にはあらかじめ設定した震度が計測された場合に自動で、そして風水害時は手動で一斉送信されます。職員は届いたメールに従い、無事出勤可・負傷出勤可、その他の4つの項目から該当する項目を選択し、空メールを送信することで、その職員の安否情報がシステムに登録されます。なお、職員の安否登録状況はシステムで自動集計され、管理者が端末上で確認できるようになっております。

次に4. 全国瞬時警報システム更新工事につきましては、北朝鮮による度重なるミサイル発射事案を受け、全国瞬時警報システムの情報伝達速度を上げる必要が生じたため、消防庁の指導により、全国の市区町村が老朽化した受信機を更新したところであり、本市におきましても、本年1月に更新しております。

最後に、5. 蕨市総合防災演習につきましては、平成30年8月19日（日曜日）午前8時から、蕨市立南小学校にて実施し、予定通り全訓練種目を実施いたしました。参加者は、自主防災組織、関係機関、来賓、職員をあわせて、765名となっております。

事務局

続きまして、「令和元年度の防災事業の取り組みについて」ご説明いたします。  
資料3をご覧ください。

はじめに、1.荒川氾濫時の想定浸水深の電柱表示についてであります。本市は国土交通省より荒川の新たな洪水浸水想定区域図が公表されたことに伴い、平成30年3月に洪水ハザードマップを改定しております。前提条件が、これまでの計画規模降雨から、想定最大規模降雨へと変わっており、新しい都市計画基本図データや標高データなども反映し、最新の知見をもとに改定したものであります。本市は、この洪水ハザードマップを市内全戸に配布するとともに、防災講座で使用するなどして、水害リスクの周知に努めてまいりましたが、平成30年7月豪雨の被災地では、ハザードマップの想定と実際の被害がほぼ一致したものの、住民の認知度が低かったため避難が遅れたとの報道がございました。このことを受け、本市といたしましても、引き続き水害の危険性を周知していかねばならないと考え、洪水ハザードマップで想定している浸水深を、市内100本の電柱に表示することといたしました。今後の事業の進め方といたしましては、まずは各町会へ設置電柱の推薦を依頼し、9月頃に設置電柱を決定、来年2月までには設置を完了したいと考えております。

次に、2. 自主防災組織の育成・強化の(1) わらび防災大学校につきましては、4年目となる今年度も、講座内容を一部変えて継続実施し、引き続き自主防災リーダーの養成に努めてまいります。ご参考として、今年度の募集チラシを配布しておりますので、後ほどご覧ください。

次に、(2) 自主防災組織育成交付金につきましても、昨年度と同様に交付予定となっております。

次に、(3) 避難所運営訓練につきましては、今年度は令和2年2月2日(日曜日)に蕨市立西小学校にて開催を予定しております。訓練内容につきましては原則として昨年度と同様といたしますが、地域ごとに既定の避難所運営方法が決められている場合にはそれを取り入れたり、既に実施した他地区の訓練における反省事項を活

事務局	<p>かしたりして、より発災直後の状況に近い内容にしていきたいと思いますと考えております。</p> <p>次に、3. 防災行政無線デジタル化移行のための調査・設計業務につきましては、総務省が周波数の有効利用の観点からアナログ無線システムのデジタル化を促進しており、既存設備の使用期限が令和4年11月末日までとなることから、本市といたしましてもデジタル方式へ移行するため、今年度は電波伝搬調査、音達設計、既存設備の劣化調査を実施する予定であります。</p> <p>最後に4、総合防災演習につきましては、次第3の(1)審議事項でご報告した通りでございます。</p> <p>事務局からのご報告は以上でございます。</p>
会 長	<p>それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、よろしく願います。</p> <p>では、染谷委員さんどうぞ。</p>
染谷委員	<p>赤十字奉仕団の染谷と申します。今の報告を聞いていまして、報告事項の訓練項目の17番に特設公衆電話設置訓練ってございますがこれはその場に公衆電話を設置だけする訓練なんですか？それともあの最近の子供たちは公衆電話のかけ方がわからないという、そういうこともあるので、ちょっと前のページに戻りますけど訓練種目の中の展示体験コーナーでNTTさんが災害伝言ダイヤル171を設置しますけれども、この時に普通の公衆電話も設置して頂いてそういう公衆電話の使用の仕方は、一緒にできないものか、もしそういうことが無理じゃなければそれも公衆電話を利用することの訓練になるかなと思いますのでお考えいただけたらという意見です。</p>
会 長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。今の件、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>こちらの特設公衆電話ですけれども、公衆電話という名称でございますが、電話機自体は通常のプッシュ式の電話でございます、それを避難者の方々が外部へ連絡する用として設置するという意味で準備してるところでございます。通常の電話機ということなんですけれども、ご指摘のとおりですね、子供などは操作に慣れて</p>

事務局	ないということもあるかと思しますので、その操作方法の訓練、後はその防災演習の展示の時にですね、特設公衆電話のことについても周知することにつきましてはNTTの皆さんと調整のうえで検討してまいりたいと考えております。
会長	ありがとうございました。その他いかがでしょうか。 はい、どうぞ。
武田委員代理	NTT東日本の武田でございます。今のご意見を踏まえまして一言申し上げたいと思うんですけれども、非常に貴重なご意見だと思っております、色んな事件のたびに公衆電話の使い方が子供たち分からない、色々と話題になっておりますけれども、そういった声結構多くございますので、自治体の蕨市さん、防災訓練に私どもも参加させていただいておりますけれども、そういった場でも実物の公衆電話等を持ち込んで子供たちに使い方を教えるみたいなことも検討をしていきたいと思しますので前向きに進めていきたいということです。
会長	ありがとうございました。よろしく願いいたします。 その他いかがでしょうか。 特にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは特にないようでありますので、「平成30年度の防災事業の取り組み」、そして「令和元年度の防災事業の取り組み」につきましては、以上とさせていただきたいというふうに思います。

#### 4. 閉会

会長	それでは、以上で予定していた議事につきましては、全て終了いたしましたので、これもちまして議長の職を解かせていただきたいと思います。 スムーズな議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。
司会	ありがとうございました。 以上をもちまして、令和元年度蕨市防災会議を終了させていただきます。 本日は誠にありがとうございました。